

くしろ市議会だより

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会

釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

✉ メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

f フェイスブックページアドレス
http://www.facebook.com/kushiroshigikai

（次回の12月定例会は、**12月7日(水)午前10時**から開会の予定です。）

ぜひ、傍聴にお越しください!

議会日程

- 7/15・8/23 議会広報特別委員会
- 9/1 議会運営委員会
- 9/5 都心部市街地整備特別委員会
- 9/6 石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

9月定例会(会期22日間)

- 9/7 本会議 報告 市政説明 提案質疑・一般質問
- 9/8・9 本会議 質疑・一般質問
- 9/12~9/15 常任委員会審査
- 9/15 議会広報特別委員会
- 9/16 委員会採決 本会議 議長報告 委員採決
- 9/20~9/27 決算審査特別委員会審査
- 9/27 総務文教常任委員会
- 9/28 審査特別委員会採決 本会議 議長報告 委員採決

9月定例会の概要

9月7日(水)から始まった第3回釧路市議会定例会は、9月28日(水)に22日間の会期を終え、終了しました。

7日から9日までの本会議では16名の議員が登壇して質疑・一般質問を行いました。

8月末から相次ぐ北海道への台風襲来もあり、7名の議員が防災・減災対策を取り上げ、新図書館の賃料や観光立国ショーケース、JRの復旧や鉄道路線の維持に関する質問も出されました。

16日の本会議採決では、28年度一般会計補正予算など22件の議案のほか、林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書など、9件の意見書を原案どおり可決しました。

20日からは各会計および企業会計の決算審査が行われ、28日の本会議採決では、決算認定における討論実施の上決算議案8件を認定し、あわせて人事案件3件に同意しました。

(審議結果は4面を参照ください。)

(文責・議会広報委員 村上和繁)

民生福祉常任委員会 意見交換会

平成29年4月実施の「新総合事業」をテーマに9月14日(水)、意見交換会を開催しました。利用者の状態により「現行サービス」「緩和されたサービス」など、制度が変わりますので、実施に当たつての課題や問題を市内の事業者にお聞きしました。介護職員の確保やメニューの検討、ケアマネージャーとの連携などに改善が必要であると意見が出ました。また、制度も複雑になり、利用している方々への周知も今後の課題です。



議会報告会のご案内

平成28年度議会報告会「市民と議会のつどい」を11月14日(月)から11月18日(金)まで市内7会場で開催します。

参加される皆様にご意見をいただく時間を確保し、その主旨を市議会での議論に反映させていただきます。

本年度は新たな会場として橋南地区にあるサンライフ釧路や、子育て世帯の皆様が多く参加していただけるようキッズコーナーのある釧路市男女平等参画センター「ふらっと」の2会場を設定しました。

報告会では、市議会だよりを基にした9月定例会の報告や議会・市政に関する皆様との意見交換を予定しております。参加は無料です。

議会報告会の日時と会場

11/14(月)	18:30~20:00	釧路市役所 本会議場
11/15(火)	18:00~19:30	コアかがやき
11/16(水)	10:00~11:30	釧路市男女平等参画センターふらっと(釧路フィットシャーマンズフーズMOO3F)
	18:00~19:30	コア鳥取
11/17(木)	18:00~19:30	阿寒町公民館
	18:00~19:30	音別町コミュニティセンター
11/18(金)	18:00~19:30	サンライフ釧路

中学生模擬議会

中学生に議会制度の体験を通じて、市政の仕組みや市議会の役割を知ってもらい、まちづくりへの関心を高め、昨年に引き続き2回目の開催となる中学生模擬議会を8月3日(水)に市議会議場で開催しました。

この模擬議会では市内の各中学



校から選出された17名の議員が、市長をはじめとする市の理事者に釧路駅前の活性化や中高生の意見を反映させる少年議会の導入など自らが考えるまちづくりに対する質問を行いました。選挙権年齢が18歳に引き下げられた中、中学生議員は市政の役割と選挙の大切さなどを学ぶことができました。

姉妹都市親善訪問

7月20日(水)から22日(金)の日程で渡辺慶蔵議員・戸田悟議員・鶴間秀典議員・森豊議員の4名が秋田県湯沢市を、7月25日(月)から27日(水)の日程で松永俊雄議員・宮田団議員・三木均議員・河合初恵議員の4名が鳥取県鳥取市を公式訪問しました。姉妹都市である両市への訪問による交流を通じて、友好の絆と相互理解を深めました。今回の交流を機に9月3日(土)から4日(日)の日程で、湯沢市より伊藤陽悦議長と藤井延之副市長他が来訪し、観光立国ショーケースに選定された釧路市で行われている観光事業について視察されました。



党派略称説明

自民ク 自民クラブ
市政進 市政進クラブ

市民連合 市民連合議員団
公明 公明党議員団

共産党 日本共産党議員団
新創ク 新創クラブ

9月7日(水)～9月9日(金)

今定例会では16名の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

9月7日(水)

共産党 工藤 正志議員 「火力発電所の廃熱利用で温水プールの新設を」

問 現在、興津地区において、計画が進められている釧路火力発電所の温水廃熱を有効利用した市営プールを新設できないか市の見解を聞きたい。

答 釧路地区には西部地域の鳥取温水プールと中部および東部地域にそれぞれ1カ所の民間施設がある。市営温水プールについては、MOOのフィットネスセンター廃止後、鳥取温水プールに機能集約した。市営温水プールの新設は、市における人口動向などからも、利用者の確保が見込めないことから、難しいものと考えている。

市民連合 岡田 遼議員 「保育所等におけるICT化の推進を」

問 保育所等におけるICT化推進等事業は、安心、安全な環境を提供できる有効な事業と考えるが、市の見解を聞きたい。

答 保育士の日常業務には保護者への連絡帳の記入や保育日誌、保育計画の作成などさまざまな業務があり、道が行った「北海道保育士実態調査」でも職場で改善してほしいこととして「事務、雑務の軽減」を半数以上の保育士が挙げている。市としても日常の業務をICT化し効率化することは保育士業務の負担軽減につながると認識している。

新創ク 大越 拓也議員 「民生委員協力員制度の導入を」

問 近年、少子化・超高齢化、そして核家族化が進み、子育て世帯の相談や支援、児童虐待の早期発見など、民生委員に期待される役割は多様化する一方、なり手不足、世代交代が進まないという課題に対し、民生委員を補助する協力員制度を創設した自治体もある。この制度の導入を検討してはどうか。

答 民生委員の負担軽減と新たな地域福祉の担い手確保は喫緊の課題であり、民生委員児童委員協議会の考え方も聞きながら、民生委員を支える仕組みについて検討したい。

自民ク 伊東 尚悟議員 「市内企業の新規採用者の確保への対策を」

問 都市圏の大手企業の雇用拡大、少子化などにより、市内企業の新規採用者の確保が困難な状況が生じている。経済界と一丸となり新たな対策を講じる必要があると考えるが、今後の対策を聞きたい。

答 市では雇用・就労に関する独自の調査を実施した上で、人手不足業種への理解を得る冊子や域内循環に取り組んでいる企業を紹介する冊子等を作成し、地元企業の理解促進に努めている。また経済界と教育現場との意見交換の場に参加するなど、情報の収集と提供に引き続き努めていく。

公明 河合 初恵議員 「グローバル化に対応した英語教育を」

問 英語でコミュニケーション力を培うため、標茶高校の生徒がクルーズ船の海外観光客に行う「おもてなし」活動は有効である。小中学校でも、このように英語に親しむ活動が重要と考えるがどうか。

答 子どもたちがさまざまな機会を通じて異文化に触れることは大事である。クルーズ船の寄港に合わせた活動には教育活動の時間帯の一致が必要であるので、今後もALTを積極的に活用し、英語教育の改革の動向を注視の上、子どもたちが国際社会に羽ばたく教育を積極的に進めていきたい。

9月8日(木)

市政進 鶴間 秀典議員 「富貴紙づくりの目的と今後の方向性は」

問 富貴紙づくりを続けるのであれば、明確かつ具体的な目標に基づいたイノベーションが必要である。他の和紙とどのように差別化するかを含め、富貴紙づくりの目的と今後の方向性を聞きたい。

答 富貴紙は特産品である露の皮を利用した唯一の和紙であり、音別地域の誇り、べき貴重な地域資源であることから知名度向上に努め、地域活性化につなげていきたい。今後については引き続き技術を継承する人材育成に努め、先進地の状況や市場調査の結果を踏まえて、次年度以降の事業展開を検討したい。

共産党 村上 和繁議員 「阿寒川の治水対策における市の見解は」

問 阿寒川の水位は大寒毛と山花で観測しているが、阿寒本町地区では観測していない。阿寒川の水位観測において最も氾濫が心配されるこの地域の水位観測体制を整えるべきと考えるが市の見解を聞きたい。

答 道が進めている阿寒川治水対策の効果はあるが、同地区での水位観測体制の整備は、住民の生命と財産を守る防災上の観点から、必要と認識している。阿寒川の治水対策を進める道をはじめとした関係機関に対して、早期に整備されるよう引き続き要望していきたい。

市民連合 松尾 和仁議員 「初秋に学校の運動会開催を」

問 小学校の運動会について釧路地域の春は肌寒くこの時期の開催が適切か疑問である。スポーツの秋にふさわしく、釧路らしい青空が広がる初秋に開催すべきと考えるがどうか。

答 市内の小学校における運動会の開催時期については、すべての学校が6月となっている。市内の小学校においては運動会等の大きな行事終了後に、職員会議などで反省を行い、次年度開催時期をはじめ、競技内容や運営面の課題について、具体的に協議している。

自民ク 戸田 悟議員 「駅周辺市街地の活力ある環境整備と更なる飛躍を」

問 駅周辺市街地が活力ある環境になるには市民文化会館市立美術館の誘導・複合再編、鉄道高架化の駅舎・市役所庁舎、大型商業施設・和商市場の誘導体一体となった公民連携の立地適正化と地域公共交通網の再編により、さらなる飛躍を目指すべきと考えるがどうか。

答 都市機能の集積を図る上で公共施設の複合化や商業施設の集積も重要で、経済活動の活性化も含め幅広い検討と次世代につながる立地適正化および公共交通網の再編と駅周辺整備も含めたまちづくりをしっかりと進めていきたい。

公明 松橋 尚文議員 「公園街路灯のLED化に対する市の見解は」

問 公園照明について、街路灯などのLED化の事業効果は非常に高い。照明灯数、年間の電気料金、電球交換等にかかる維持費およびLEDに交換した場合の工事金額の概算と電気料金等の節減額を聞きたい。

答 現在、公園の照明灯994基のうち水銀灯は660基、この電気料金は年間1520万円、維持費は80万円である。これをLEDに交換した場合、工事費概算は5130万円、電気料金の単純比較では年間約1000万円の節減効果が見込める試算結果となっている。

市政進 松永 証明議員 「介護職ゼロに対する市の対策は」

問 全国で介護による離職者数は年間10万人を超え、働き盛りの40代、50代が最も多く離職している。今後その傾向は続くと思うが市としての「介護離職ゼロ」対策の取り組みを聞きたい。

答 高齢者人口の増加に伴い、要介護者は増えている。国は施設整備やサービスの充実、仕事と介護の両立に関する取り組みを行う事業者への助成、介護休業給付の給付率引き上げなど各種の支援を実施しており、市でもこれらの支援を引き続き事業者へ周知し、取り組みの後押しをしていきたい。

用語解説

- *1 ICT(情報通信技術) ICTは「Information and Communication Technology(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)」の略 IT(=情報技術)の概念をさらに一歩進め、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称。
- *2 ALT(Assistant Language Teacher) 外国語指導助手。釧路市では、ALTとして、小・中学校及び北陽高等学校や市立幼稚園に外国人を派遣し、授業の中で活発な言語活動や国際理解教育の推進を図っている。
- *3 イノベーション(技術革新) 新しいものを生産する、あるいは既存のものを新しい方法で生産することであり、生産とはモノや力を結合すること。既存の価値を破壊して新しい価値を創造していくこと。

委員会審査

今定例会では3常任委員会と4特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。

3常任委・4特別委

総務文教常任委員会
山口 光信委員長

**新図書館賃料
「適正な金額か」**

「新図書館の賃料が示されたが、不動産鑑定による金額をわずかに下回ったものの、当初に示された試算結果を大幅に上回っており、交渉のやり方にも疑問が残るがどのように考えるか。」との質問がありました。

市長は、「交渉に当たり、公正な判断基準を持つために不動産鑑定を実施した上で、いかに市民負担を軽減するかを考慮し、減額に向け交渉をしたところで、ぎりぎりの協議を行った結果であると考えている。また、当初の試算金額は当時の条件下で試算したものであるが、市が建設するより、賃貸による整備の方が安価であることは変わりないと考えている。」と答えました。

経済建設常任委員会
宮田 団委員長

**空港民間委託
「地元意見」に配慮を**

「空港民間委託に向けて施設に関する要望はしていくのか。また、民間委託には、施設の管理など安全性が確実に担保されなければならないと考えるが、見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は「市が示す釧路空港の将来目標を達成するためには、外国人の受け入れに係る税関や出入国管理の施設狭隘等の課題を運営会社が解決しなければならぬ。安全面については、民間委託についても国が所有権を持ったまま、運営権を期間限定で譲渡するものであり、経営状態や安全対策等を国が監視する制度が確立されている。空港運営に自治体等が意見できる仕組みづくりは道や国に提案している。」と答えました。

民生福祉常任委員会
梅津 則行委員長

**病後児保育事業
「事業の継続と利用促進を」**

「病後児保育事業がスタートして6カ月が経ち、利用状況が8月末現在で登録人数23人、利用人数1人、利用延べ日数が11日といずれも低調だが、問題点をどのように捉え、改善を図っていく考えなのか。」との質問がありました。

理事者は、「本事業は、保護者の安心、セーフティネットの面からも意義があり、多くの方に利用していただきたいと考えている。今後、さらなる利用、周知促進のため、保育園の園長会議などで事業の目的や利用方法等の説明を行い、保護者へ登録の働きかけを行うとともに、保育事業者や医師会とも連携を密にして事業の精査をした上で、課題を洗い出し、改善策を検討していきたい。」と答えました。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
続木 敏博委員長

**国への要請行動
「新たな工夫を」**

「国の平成29年度予算概算要求に釧路コールマインでの研修事業が盛り込まれることとなったが、年々予算額が減少しており、国への要請行動に新たな工夫を要する必要があるのではないかと。」との質問がありました。

理事者は、「同事業が概算要求に盛り込まれたことに安堵しつつも、内容には満足していない。これまでさまざまなチャンネルを使いいろいろな行動をしてきたが、事業の重要性と国に対する役割への理解をさらに深めてもらうため、新たな取り組みが必要と考えており、同社や道と連携していきたい。」と答えました。

都心部市街地整備特別委員会
渡辺 慶蔵委員長

**官民が連携したまちづくり
「今後の進め方は」**

「鉄道高架化が注目されている中、有識者検討部会の中間報告をうけて、官民が連携したまちづくりについては、今後、どのように進めていくのか」との質問がありました。

理事者は、「都心部まちづくりの検討については、今年度から市役所内部で骨格づくりに取り組んでおり、官民の連携については、この検討が完了した後、民間事業者等のご意見を伺い進めていきたい。特に釧路商工会議所とは、これまででも勉強会等で情報提供してきた経過があり、まずは今般受けた中間報告を、改めて本年9月から10月までに、情報提供をしていきたい。」と答えました。

本会議

質疑・一般質問

9月9日(金)

共産党 梅津 則行議員

「ヘリポート整備の必要性は」

問 熊本日赤病院にはドクターヘリと防災消防ヘリが運航しており二つのヘリポートを整備している。市立釧路総合病院には、ドクターヘリは1機しかなく、今後増える予定もないが、新棟に二つ目のヘリポートを整備する必要性と目的を聞きたい。

答 熊本地震で被災した病院が機能停止したことを踏まえ、ヘリポートを免震構造の新棟に設置することとし、災害拠点病院としての機能を継続していく。既存ヘリポートについてはドクターヘリの一時待機場所として有効活用する。

市民連合 宮田 団議員

**「阿寒高校の存続に向けた支援に
対する市教育委員会の見解は」**

問 道の「公立高等学校配置計画案」の内容を見ると、阿寒高校の存続が懸念される。同校存続に向けた支援に対する市教育委員会の見解を聞きたい。

答 阿寒高校は、旧阿寒町における唯一の高校として開校以来、幾多の人材を輩出している。同高校が地元密着型の教育活動を推進していることを踏まえ、地域の文化や産業の次世代への継承など人づくりの視点からもその存在は重要であり、これまで同様存続に向けしっかりと支援していきたい。

自民党 草島 守之議員

**「洪水ハザードマップ作成の今後
の予定は」**

問 風水害への取り組みとして平成27年の水防法改正を踏まえ、市の洪水ハザードマップ作成に関する今後の予定を聞きたい。

答 大雨による災害が全国的に多発する中、今年度「地域防災計画」の中で、土砂災害時の避難所の開設候補先を18カ所から37カ所に増やすなどの見直しをするともに「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を作成した。また、市民向けに新釧路川における洪水ハザードマップや釧路地域の内水氾濫ハザードマップを作成し、全戸配布する予定である。

共産党 松永 俊雄議員

**「新図書館の賃借料に対する市の
見解は」**

問 新図書館の賃借料は私の調査では道銀ビル本体の建設費の二倍以上にもなる。市民の理解は得られない。賃借料は35億円から不動産鑑定額の52億円の間なのか。賃借料合意に係る書面は交わすのか。

答 最終的な賃料協議は9月上旬に行う予定である。賃料については議員確認の範囲で考えているが、相手方との協議が終了していないため、まだ報告出来ない。賃借料合意に係る書面を交わす予定はない。

市民連合 酒巻 勝美議員

**「新観光振興ビジョンの策定
する市の見解は」**

問 新観光振興ビジョンの策定には、国の4つの大きなプロジェクトによる事業を、重点戦略の4本柱に据え、方針や方向性を打ち出すべきと考えられるが市の見解を聞きたい。

答 同ビジョンの策定は、現行のビジョンを踏襲しつつ、社会情勢や環境の大きな変化に対応するものである。国の観光施策のプロジェクトである「水のカミイ観光圏」「広域観光周遊ルート」「観光立国ショーケース」「国立公園満喫プロジェクト」に選定されたことから観光産業の成長と、他産業への経済波及効果という視点にも考慮の上、策定していきたい。

用語解説

- ※4 洪水ハザードマップ
洪水浸水想定区域図に洪水予報等の伝達方法、避難場所その他洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等が記載されたもの。
- ※5 観光立国ショーケース
「日本再興戦略改訂2015」(平成27年6月30日閣議決定)に基づき、多くの外国人旅行者に選ばれる、観光立国を体現する観光地域を作り、訪日外国人旅行者など地方へ誘客するモデルケースを形成しようとするもので、全国の応募の中から釧路市を含む3都市が選定されました。

各会計決算審査特別委員会

松尾 和仁委員長

指定管理者制度の今後のあり方の検討を

総合政策部・市民環境部・産業振興部・生涯学習部の審査において、「平成27年度のコミュニティセンター3館の指定管理者の公募について、当初の条件では応募者がなく、指定管理費の上限額を見直し、増額することになったが、そもそも当初の上限額の設定が妥当なものでなかったのではないかと。また、このような見直しが必要となったのは、指定管理者制度の導入から10年が経過し、今後の制度のあり方を検討していく時期にきている」との背景にあるのではないかと。この質問がありました。

市長は「上限額については、前年度までの実績額を参考とし、公募による経費削減効果などを加味し、積算するという基本方針を踏まえた上で、必要な経費の増減額を反映し設定したものであるが、我々の思いと応募者の思いに、隔たりがあったものと考えている。指定管理者制度は民間の活力で施設の管理を効率的に行うとともに、民間の経済活動にもつながるよい制度と考えている。今後は、実態を踏まえた上で、制度を適切に運用していきたい。」と答えました。

【各会計決算審査特別委員】
 ◎松尾 和仁 ○大越 拓也
 三木 均 戸田 悟
 金安 潤子 松橋 尚文
 梅津 則行 宮田 団
 ◎委員長(副委員長)

企業会計決算審査特別委員会

大澤 恵介委員長

医師確保のための医師住宅の整備をガントリーレーンの位置づけは

病院事業会計の審査において、市立釧路総合病院の不足している医師を確保するためには、医師住宅の充実が重要と考える。医師の住環境を整備することで、医師が当市に定住することも期待できると考えるがどうか。」との質問がありました。

理事者は、「医師の確保は最大の課題であり、市長や病院長が道や医科大学に強く要請を行っている。住環境の整備についても、医師を確保する上では、同時に検討しなければならぬ大きな課題の一つとして認識している。」と答えました。

港湾整備事業会計の審査において、「釧路港が東北海道の重要な拠点港として機能を果たすには、ガントリーレーンには重要なものと考えているが、釧路港における位置づけをどのように認識しているか。」との質問がありました。

【企業会計決算審査特別委員】
 ◎大澤 恵介 ○河合 初恵
 伊東 尚悟 山口 光信
 森 豊 工藤 正志
 松永 征明 岡田 遼
 渡辺 慶蔵
 ◎委員長(副委員長)

《賛否の討論》

採決に当たり、賛否の討論がありました。賛否の討論が要旨は次のとおりです。

反対討論

共産党 梅津 則行議員

27年度一般会計予算審議においては「福祉の増進を図る」新たな独自施策が示されていない。また、貧困による虐待や家庭崩壊で子どもに支援が必要な世帯もあることから、市税等の滞納処分にあたってはその背景をしっかりと調査すべきである。公共施設における指定管理制度については、よりよいあり方から人件費抑制ではないあり方の検討を求める。「新図書館整備」については市長の独断専行ともいえる手法で進めているが、契約を延期して再交渉すべきである。子ども支援の釧路市の独自政策を打ち出すべきで、その財源は基金60億円の活用である。以上のことから反対とする。

賛成討論

市長連合 岡田 遼議員

27年度において市長の目指す「都市経営」を基本とした持続可能なまちづくりに向けた事業施策は着実に実施されている。さらにも「財政健全化プラン」の着実な推進により、実質収支で17億6千6百85万4千円の黒字、減債基金残高は59億となるなど、財政構造は改善に向かっている。阿寒IC開通や国際バルク戦略港湾に象徴される西港整備が台風災害の影響を最低限に抑え、これからの釧路市を支える大きな柱として認識されている。今後も地域の持続的な発展に向けて各施策を粘り強く、また力強く推し進めていくことを期待し賛成する。

平成28年第3回9月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(認定・同意・承認)となったもの (31件)

市長提出議案		議員提出議案	
予算	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算	その他	公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
	平成28年度介護保険特別会計補正予算		訴えの提起の件
	平成28年度農業用簡易水道事業特別会計補正予算		市道路線の認定の件
	平成28年度動物園事業特別会計補正予算		工事請負契約の締結に関する件(平成28年度鳥取南団地B棟公営住宅建築主体工事)
	平成28年度病院事業会計補正予算		工事請負契約の締結に関する件(平成28年度駒場公営住宅S8耐震改修建築主体工事)
	平成28年度公設地方卸売市場事業会計補正予算		特定事業契約の変更に関する件
	平成28年度港湾整備事業会計補正予算		産業振興部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	平成28年度一般会計補正予算(議案第101号)		教育委員会委員の任命について同意を求める件
決算	平成28年度市設魚揚場事業会計補正予算	公平委員会委員の選任について同意を求める件	
	平成27年度工業用水道事業会計決算認定の件	諮問	人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件
	平成27年度下水道事業会計決算認定の件	専決処分	専決処分報告の件(平成28年度一般会計補正予算)
	平成27年度公設地方卸売市場事業会計決算認定の件		専決処分報告の件(平成28年度動物園事業特別会計補正予算)
平成27年度市設魚揚場事業会計決算認定の件		専決処分報告の件(平成28年度市設魚揚場事業会計補正予算)	
条例	阿寒町観光物産展示施設条例の一部を改正する条例		
議員提出議案			
意見書	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか8大臣)		
	JR北海道、JR四国及びJR貨物に係る税制特例の継続等を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)		
	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書(提出先:内閣総理大臣および文部科学大臣)		
	有害鳥獣対策の推進を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの (11件)

○賛成 ×反対

市長提出議案		議員提出議案							審議結果	
件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政連(4)	公明(3)	新創ク(3)			
予算	平成28年度一般会計補正予算(議案第74号)	○	○	×	○	○	○	○	可決	
	決算	平成27年度各会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	認定
		平成27年度病院事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	認定
		平成27年度水道事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	認定
平成27年度港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	×	○	○	○	○	認定		
その他	生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件	○	○	×	○	○	○	○	可決	
議員提出議案										
件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(7)	市民連合(6)	共産党(4)	市政連(4)	公明(3)	新創ク(3)	審議結果		
意見書	無年金者対策の推進を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか2大臣)	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	介護・障害福祉従事者の人材確保と賃金上げを求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)	×	○	○	○	○	○	○	可決	
	後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の継続等を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか5大臣)	×	○	○	○	○	○	○	可決	
	公共輸送機関であるJR北海道等に係る支援策及び早期の災害復旧を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)	×	○	○	○	×	○	○	可決	
	高すぎる学費の引き下げを求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)	×	○	○	○	×	○	○	可決	

※ 公明の議員数は4人ですが、月田議長が採決に加わっていないため3人としています。